第三講　論説　記述編　哲学・心理・コミュニケーション論

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

直接かかわらないで、ただじっと見ている、あるいは何もしないでただ横にいるということが、ポジティヴな力になることがある。はじめての幼稚園。母親にじっと見守られている、関心をもたれていることで、はじめてひとりで新しい仲間の輪のなかに入ってゆけたという思い出はだれにもあるだろう。見守るとともに、聴くということにも、何もしないことが他人を深く支える、そういう力がある。じっさい、ひとは自分の落ち込んだ気持ちを、ひとに聴いてもらえると楽になる。他人に話したら、理解してもらえなくても、聴いてもらうだけでずいぶん楽になれる。

だれかにほんとうに聴いてもらいたくなるのは、ふさいでいるとき、でも自分でも何を訴えたいのかよくわからないときである。しかし聴くというのはなかなかにむずかしいことである。何か思いつめているときには、まず「言ったってわかるはずがない」と口が重くなるが、「ふん、ふん」とうなずかれると、「そんなにかんたんにわかられてたまるか」という反発が先に立つ。それが感染して、聴くほうも「わかるんだけどわかりたくない」と意固地にもなる。聴こうとするといやがるから、逆に鼻歌うたいながら用事でもしつつ聴くとはなしに聴く、くらいの感じではじめて口を開いてもらえるということもある。

しかし、聴くことがもっとむずかしいのは、聴いても言葉を返しようがないとあらかじめわかっているときである。重篤な病気になった友人、家族を失った被災者、子どもを失った両親、ホスピス(注)の患者さん、くり返し病に冒される知人……。このひとたちの前に立ったとき、とっさにどう声をかけていいのかわからず、怯(ひる)んでしまう。まさに聴くことしかできないのである。けれども、Aひたすら聴くということ、そのことには大きな意味がこもっている。

このような場合にじっと聴くのがむずかしいのには、いくつか理由がある。一つは、苦しみやふさぎの理由を問うても答えがないことは、話す本人がわかっているから。なぜこのわたしばかりが病に冒されるのか、こんな状態でも生きつづけることは死ぬことより大事なのか……と問いただしても、だれも答えを返せないに決まっている。

第二に、ひとはほんとうに苦しいときには話さないものである。「言ったってわかってもらえるはずがない」。それでもようや

っと口を開いても、一言一言が相手にたしかに届いているか確認しながらしか話せないので、どうしてもとつとつとした断片的な語りになってしまう。

第三に、迎え入れられるという確信のないところでは、ひとは他人に言葉をあずけないものだ。ほんとうはそのことは考えたくない、忘れていたいのに、B他人に語ることで苦しみをわざわざ二重にすることはない。そして最後に、とくに家族の場合、自分が漏らす一言一言を身内は聞き流すことができず、それらに過剰に反応してしまう。「そんなこと思っていたのか。こっちの身にもなってくれ」と返され、そして「言わなきゃよかった」と二度と口を開かなくなる。

聴くというのは、それほどにむずかしいことである。が、それでもひたすら聴かねばならない。最後まで聴き切らねばならない。聴くだけ、言葉を受けとめるだけということが意味をもつのは、いったいどうしてか。

苦しみやふさぎのなかに溺れてしまっているひとが、それでもそれについて語るためには自分の苦しみやふさぎについて、どんなきっかけ、どんな経過でこんな苦しみやふさぎに襲われることになったのか、その理由と考えられるものは何か、いまはどんな状態か、というふうに、苦しみやふさぎから身を引き剥（は）がし、ことがらを時系列に並べ換え、整理して語らねばならない。このように自分の苦しみやふさぎにある距離をとり、それを対象化するなかで、それらとの関係が変わるということがここではとりわけ重要なのである。つまり、苦しみやふさぎを当初あったのとは別の地平へと移し変えるところに、他者を前におのれについて語ることの意味はある。語るということは、相手に回答をもらうということではない。C見えない自分の姿を映すために、その鏡の役を相手にしてもらうことであるのだ。

が、鏡であるべき聴く者は、話の中身が重いし、しかも相手からなかなか言葉が漏れてこないので、その緊迫になかなか耐えきれない。身を固くしてじりじりと待つだけで疲れはててしまう。そのうち待ちきれなくなって、「あなたが言いたいのはこういうことじゃないの？」と誘い水を向ける。話すほうはその明快な語り口につい乗ってしまう。「わかってもらえた」、と。が、Dこれはじつはもっともまずい聴き方なのだ。

（鷲田清一『わかりやすいはわかりにくい？──臨床哲学講座』筑摩書房、二〇一〇年、一二〇〜一二四頁より）

（注）ホスピス　……　死期の近い患者に延命治療を行わずに、肉体の苦痛を和らげ、精神面の援助により生を全うできるよ

う医療を行う施設のこと。

問１　本文では「聞く」ではなく「聴く」という表記が用いられているが、この両者の辞書的な意味の違いを述べなさい。（サプリ講義担当者からの注―二行、七〇字程度書ける解答欄があります。この中で必要と考えられる説明をしてください）

問２　傍線部Ａ「ひたすら聴くということ、そのことには大きな意味がこもっている」とあるが、この「意味」は話し手にどのような作用をもたらすことを指すか。本文の言葉を用いてまとめなさい。（サプリ講義担当者からの注―二行、七〇字程度書ける解答欄があります。この中で必要と考えられる説明をしてください）

問３　傍線部Ｂ「他人に語ることで苦しみをわざわざ二重にすること」とはどういうことか。本文の内容に即して述べなさい。（サプリ講義担当者からの注―二行、七〇字程度書ける解答欄があります。この中で必要と考えられる説明をしてください）

問４　傍線部Ｃ「見えない自分の姿を映すために、その鏡の役を相手にしてもらうこと」とは具体的にどういう意味か。分かりやすく説明しなさい。（サプリ講義担当者からの注―二行、七〇字程度書ける解答欄があります。この中で必要と考えられる説明をしてください）

問５　傍線部Ｄ「これはじつはもっともまずい聴き方なのだ」とあるが、それはなぜか。本文全体の内容をふまえて述べなさい。（サプリ講義担当者からの注―二行、七〇字程度書ける解答欄があります。この中で必要と考えられる説明をしてください）

知識モノ解説

文学史・人物紹介

●鷲田清一＝わしだ　きよかず（一九四九〜）京都生まれ、京都大学文学部哲学科専攻、同大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。関西大学教授、大阪大学総長、京都市立芸術大学長などを務め、現在はせんだいメディアワーク館長。著書多数で、概ね二十一世紀以降の現代文や小論文入試にてもっともよく出題される人。センター試験でも登場済み

語句

臨床＝りんしょう→ベッドサイド・現場
ふさぐ＝塞ぐ→何か心に引っかかることがあって憂鬱（ゆううつ）になること
思いつめる＝思い悩むこと、これしかないと思考が縛られること、思考が煮詰まること
意固地＝いこじ→頑固（がんこ）になって、自分の意見を譲らないこと。「依怙地」という表記もある
鼻歌うたう＝はなうたうたう→気分の良い様子。真剣みが感じられない様子という意味もある
重篤＝じゅうとく→重い病気で容易には治らない様子
冒される＝おかされる　病などにおそわれること。「冒す」は、あえて何かをするという意味で「危険を冒す」などと使う。同音異義語の「犯す」は「過ちを犯す・法を犯す」などと使う。「侵す」は「権利を侵す・領土を侵す」などと使う
怯む＝ひるむ→勢いにおされて、気力がくじけること
対象化＝たいしょうか→自分とは距離を置いて冷静に見ること。客観化。モノ扱いするという意味もある

地平＝ちへい→次元やステージ

誘い水＝さそいみず→しむけること、誘導すること。「呼び水」とも言う

復習問題　第三講

次の傍線部にあたる漢字を、次の各選択肢から選びなさい。

（ア）来年は幼チ園の先生になる　①致　②稚　③治　④乳　⑤池

（イ）効果的な感セン症対策を練る　①選　②宣　③戦　④染　⑤腺

（ウ）意固ジな性格と指摘される　①自　②慈　③地　④示　⑤児

（エ）病気の重トク化を予防する　①徳　②得　③特　④匿　⑤篤

（オ）知識を断ペン化せず統合する　①編　②偏　③片　④辺　⑤返

（カ）合格するとのカク信がある　①核　②覚　③格　④確　⑤閣

（キ）反応の仕方が過ジョウだ　①剰　②醸　③乗　④状　⑤常

（ク）時ケイ列にそって整理する　①経　②系　③計　④形　⑤携

（ケ）現地のヒ災状況を報告する　①被　②非　③彼　④秘　⑤碑

（コ）事態がキン迫の度を増す　①禁　②襟　③筋　④僅　⑤緊

第三講　模範解答

問1　「聞く」は音声などを物質的・客観的に耳で受け取ることであるのに対し、「聴く」は相手の心も考えて心を込めて感じ取ることである。

問2　何もせず聴くことが、気持ちの落ち込んだ人にとっては深く支える力となり、理解してもらえなくても楽になるという作用。

問3　相手に迎え入れられる確信がないとき、忘れたい苦しみやふさぎについて他人に話して再度思い出してしまうということ。

問4　聴き手に自分の苦しみやふさぎの理由やいまの状態を整理して語ることで、苦しみやふさぎと距離をとって対象化でき、それらとの関係を変えられること。

問5　本来聴くとは、最後まで聴ききり言葉を受け止めるだけに徹することで、他人には理解できない苦しみやふさぎを抱える人にとって意味が出てくるのに、明快に語ってしまい「わかってもらえた」と勘違いさせるから。

復習問題　第三講　模範解答

（ア）②　（イ）④　（ウ）③　（エ）⑤　（オ）③

（カ）④　（キ）①　（ク）②　（ケ）①　（コ）⑤

解答漢字一覧

（ア）幼稚　（イ）感染症　（ウ）意固地　（エ）重篤　（オ）断片

（カ）確信　（キ）過剰　（ク）時系列　（ケ）被災　（コ）緊迫